

4 技能・技術実践研修

(1) 目的

産業構造等の変化に伴う企業ニーズに対応した職業訓練並びに高度な職業訓練の実施に対応するため、必要とされる専攻分野に関する専門的な知識、技能及び技術の習得とその専門分野かつ専門分野を含む複合・横断的な領域における訓練を効果的に展開する方法等を習得します。

(2) 受講に当たっての留意事項

指導員研修カリキュラムについて

技能・技術実践研修の指導員研修カリキュラムは、次の方針により作成しています。

- ① 「研修のねらい及び到達目標」、は研修設定のねらい及びこの研修を受講することによって、何が（習得要素）、何処まで（到達水準）できるようになるのかをできるだけ具体的に記述しています。
- ② 「最低限必要な知識」は、受講にあたって事前に必要となる知識や前提条件です。研修受講者のレベルを合わせることを目的にしています。
- ③ 「研修内容」は、研修要素を「講義」と「実技・演習」に分けて記載しています。
研修の最終日に研修受講者が習得した技能・技術の理解度及び習得度を確認するために「習得度確認」を行うとともに、研修成果を訓練へ効果的に展開するためのディスカッションを実施します。
- ④ 「研修成果が活用できる職務」は、研修を受講し、職業訓練で展開した際に、企業内のどのような職務に役立つかを示しています。
- ⑤ 「受講者が用意するテキスト」は、研修で使用する予定のテキストです。現時点での予定ですので、開講の概ね2ヶ月前を目安に送付する実施通知を確認の上、購入してください。
- ⑥ **4 革
対応コース** は第4次産業革命に対応した訓練に係る研修コースです。